学校番号	2003

平成 31 年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語表現Ⅱ	3	第２学年	いいずな書店「be English Expression Ⅱ Advanced」 いいずな書店「My English Portfolio Ⅱ Advanced」 いいずな書店「総合英語 be 3rd Edition」

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・英語表現Ⅱの授業では、言語習得の基本である文法を中心に学んでいきますが、単に文法の知識を理解するだけではなくそれを実際に「表現」する活動を多く取り入れていきます。そのため、コミュニケーションⅡと同様「話すこと」、「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」の活動に積極的に取り組むようにしましょう。

・高校２年次では１年次に学習した内容を品詞別に再度確認していきます。１年次同様、授業中はもちろん、授業外でも自主的に学ぶ姿勢を求めます。授業ごとに文法の基礎となる事項を辞書や参考書を使って調べ、理解してくる課題を出しますので、クラスメイトに自分で説明できるくらいまで学習してきてください。

・アクティブ・ラーニングを取り入れた授業になりますので、ペアワークやグループワークにも積極的に参加し、わからないことはお互い教え合い、助け合って学ぶ姿勢を身につけましょう。

２ 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第２学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅱ」（3 単位）及び「英語表現Ⅱ」（3 単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目･評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目･評価
事実や意見などを、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝えることができる。与えられた話題について，即興で話すことができる。	コミュ英Ⅱ リテリング 英語表現Ⅱ スピーチコンテスト	読んだり聞いた事をまとめて、論理展開などを意識しながら簡潔に書くことができる。 自分の経験に基づき、あるテーマに沿って相手に伝わる文章を書くことができる。	コミュ英Ⅱ サマリー 定期考査 英語表現Ⅱ テーマを与えた自由英作文(週末課題)、定期考査	授業内での活動において、相手から伝えられた内容をまとめることができる 段階を追って個々のリンキングを理解することができる。まとまった内容を聞いて概要と要点を理解できる	コミュ英Ⅱ タスクシート、 英語表現Ⅱ リスニング教材､定期考査	まとまった英文の概要を確実に掴むことができる。 まとまった英文の要点をキーワードで整理できる。 ペアによる英問英答で内容を理解できる。	コミュ英Ⅱ セクションのタイトル選び QA シート 定期考査

3 学習評価(評価の観点と実施方法

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	ペアワークでの会話文を用いたスピーキングや教え合い、グループワークでのディスカッションへの参加態度等英語でのコミュニケーションを積極的に図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」「書くこと」の到達目標を、教科書の small talk を用いたペアでのスピーキングテストなど的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	Lesson が終わるごとに授業内で小テストを実施し、文法の理解度及び定着度を評価。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

単元(配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 1-9 (18 時間)	(動詞) 夢・将来 文化・行事 ペット (名詞) 情報と社会 世界の国々 外国での生活 (形容詞) 利便性 幸福 活動	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペアワークやグループワークに積極的に取り組む。	・レッスンごとにある small talk のダイアログをペアで read and look-up の形で再現する。 ・文法事項に関してペアで説明し合う。	・ペアワークにおいて、互いに協力しながら会話や説明をしている。 ・read and look-up の形できちんとアイコンタクトをしながら会話している。	・グループ内でペアワークの評価シートを用いたセルフチェックをさせる。 ・ペアワークにおける言語活動や教え合いを観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・レッスンごとに学んだ文法事項を用いて簡単なエッセー・ライティングを行う。	・時制や助動詞を上手く使い分け、夢・自分のペット、海外での生活に関するエッセーを書く。 ・書いたエッセーをもとにスピーキングをし、ペアで共有する。	・現在・過去・未来・完了などの時制を使い分けることができる。 ・適切な助動詞を使うことができる。	・エッセーを提出させ、その内容を取り組み状況や理解度の判断材料とする。 ・定期考査のライティングにおいて知識が身についているかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・ペア活動の中で外国語特有のアクセントなどを確認する	・Small talk 内の表現について確認する。 ・正しく発音ができるか、モデルに従って音読する。	・正しく英語を聴き取り、それを書くことができる。 ・英語特有の表現・言い回しなどを理解できる。	・ペアワークを積極的にしているか観察する。 ・ワークシートの内容を取り組み状況の判断材料とする。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・会話文に特有の言い回しを理解する。 ・時制・助動詞・受動態の概念を理解し、文脈に応じて使い分けられる。 ・異文化理解を深める	・small talk の中にある会話文特有の表現を理解し、実際にスピーキングをすることで定着させる。 ・レッスンごとに小テストを行い、文法事項の理解度を確認する。	・文脈に則して適切な時制表現や助動詞を使うことができる。	・小テストの内容から理解度を判断する。
Lesson 10-17 (20 時間)	(副詞) 社会的慣習 思い出 電子機器 (比較・接続) 進路 想像	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペアワークやグループワークに積極的に取り組む。	・レッスンごとにある small talk のダイアログをペアで read and look-up の形で再現する。 ・文法事項に関してペアで説明し合う。	・ペアワークにおいて、互いに協力しながら会話や説明をしている。 ・read and look-up の形できちんとアイコンタクトをしながら会話している。	・グループ内でペアワークの評価シートを用いたセルフチェックをさせる。 ・ペアワークにおける言語活動や教え合いを観察する。

	教訓 (表現) コミュニケーション 社会問題 スピーチ	「外国語表現の能力」			
		・レッスンごとに学んだ文法事項を用いて簡単なエッセー・ライティングを行う。 ・これまで学んだ知識を複合的に活用し、スピーチを作成する	・比較や副詞を適切に使い自分の進路・社会問題に関するエッセーを書く。 ・知覚動詞を使い、社会問題についてエッセーを書くことができる。 ・スピーチを作成し、ペアでシェアできる。	・副詞を適切に使うことができる。 ・比較級を適切に用いて、それを使った文を書くことができる。 ・適切な表現で自分の意見を書くことができる。	・エッセーを提出させ、その内容を取り組み状況や理解度の判断材料とする。 ・定期考査のライティングにおいて知識が身についているかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・ペア活動の中で外国語特有のアクセントなどを確認する	・Small talk 内の表現について確認する。 ・正しく発音ができるか、モデルに従って音読する。	・正しく英語を聴き取り、それを書くことができる。 ・英語特有の表現・言い回しなどを理解できる。	・ペアワークを積極的にしているか観察する。 ・ワークシートの内容を取り組み状況の判断材料とする。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・会話文に特有の言い回しを理解する。 ・副詞、比較の概念を理解し、文脈に応じて使い分けられる。 ・異文化理解を深める	・small talk の中にある会話文特有の表現を理解し、実際にスピーキングをすることで定着させる。 ・レッスンごとに小テストを行い、文法事項の理解度を確認する。	・文脈に則して適切な準動詞や分詞、関係詞を使うことができる。	・小テストの内容から理解度を判断する。
Lesson 18-21 （ 15 時間）	(許可・提案) 生活と住居 (英語特有の表現) 旅行 健康 興味・関心 スピーチ	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペアワークやグループワークに積極的に取り組む。	・レッスンごとにある small talk のダイアログをペアで read and look-up の形で再現する。 ・文法事項に関してペアで説明し合う。	・ペアワークにおいて、互いに協力しながら会話や説明をしている。 ・read and look-up の形できちんとアイコンタクトをしながら会話している。	・グループ内でペアワークの評価シートを用いたセルフチェックをさせる。 ・ペアワークにおける言語活動や教え合いを観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・レッスンごとに学んだ文法事項を用いて簡単なエッセー・ライティングを行う。 ・スピーチコンテストに向けて自分の考えを英語でまとめる。	・許可・提案を表す語法を用いて住居・生活におけるルールを書く。 ・スピーチをクラス全員の前で発表する。	・許可・提案を表す語法を用いて住居・生活におけるルールを書ける。 ・集団の中で自分の考えを英語で伝えることができる。	・エッセーを提出させ、その内容を取り組み状況や理解度の判断材料とする。 ・定期考査のライティングにおいて知識が身についているかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・ペア活動の中で外国語特有のアクセントなどを確認する	・Small talk 内の表現について確認する。 ・正しく発音ができるか、モデルに従って音読する。	・正しく英語を聴き取り、それを書くことができる。 ・英語特有の表現・言い回しなどを理解できる。	・ペアワークを積極的にしているか観察する。 ・ワークシートの内容を取り組み状況の判断材料とする。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・会話文に特有の言い回しを理解する。 ・他の生徒のスピーチの内容から異文化理解を深める	・small talk の中にある会話文特有の表現を理解し、実際にスピーキングをすることで定着させる。 ・レッスンごとに小テストを行い、文法事項の理解度を確認する。	・文脈に則して適切な語法を使うことができる。	・小テストの内容から理解度を判断する。